

人材育成担当者向け

eラーニングを活用した
✎ 人材育成のすすめ ✎

大田区福祉人材育成・交流センター



令和4年12月

はじめに

近年、社会福祉分野を取り巻く状況は、介護育児のダブルケアや8050問題など、支援を必要としている個人・世帯が抱える課題が多様化・複雑化しており、一つの支援機関だけでは支援が困難であるケースが顕在化しています。

こうした背景を受け、地域共生社会の推進に向け様々な取組みが求められている中で、区は大田区地域福祉計画に掲げる「大田区版地域共生社会の実現」に向け「複合課題に取り組む個別支援」と「支援と共生の地域づくり」の推進を目指しています。

「大田区版地域共生社会の実現」に向けては、人と人、人と資源のつなぎ手となり、地域住民をはじめ地域の多様な主体が支え合う意識と機会を創りだすことのできる人材の「育成」が必要となります。

人材育成は組織・事業運営にとって、とても重要な要素ですが、日々の支援や事務手続きに加えて昨今の感染症対応にあるような臨時的業務もあり、十分な機会や時間、コストを割くことが難しい事業所も多いのではないのでしょうか？そもそも、慢性的な人材不足の中で、人材育成に取り組む余裕がないという事業所もあるかもしれません。

人材育成の課題や悩みは法人・事業所の規模や提供するサービス種別によっても様々あるかと思います。

そこで、区はこれまで実施してきた集合型の研修等に加えて、「大田区福祉人材向けeラーニングシステム」を導入し、今後、様々な研修コンテンツを整備していきます。

ぜひ、それぞれの法人・事業所における職員研修等で積極的にご活用いただき、効果的な人材育成にお役立てください。

令和4年12月
大田区福祉人材育成・交流センター

eラーニングを始める前に

大田区福祉人材育成・交流センターでは、福祉事業所における人材育成や、福祉従事者のスキルアップ・自己啓発を支援するため、大田区福祉人材向けeラーニングシステムを導入し、様々な研修コンテンツを整備していきます。

eラーニングシステムへの登録については、大田区ホームページ

大田区福祉人材育成・交流センター

検索



※大田区ホームページが表示されます。

をご参照いただき、お手続きください。

(1)eラーニング活用のすすめ

eラーニングによる学習は、従来の集合型研修やオンラインセミナー形式の研修と組み合わせさせていただくことで、幅広い人材育成に繋げることができます。

ぜひ、eラーニングを積極的にご活用ください。





(2)eラーニングの特徴

メリット	<ul style="list-style-type: none">○時間や場所の制約が少ない○いつでも利用できる→困ったときに利用できる○繰り返し利用・学習できる○短時間に分割して利用・学習できる○PC やスマートフォンなど様々なデバイスで利用できる○学習履歴が残しやすい○コストが押さえられる
デメリット	<ul style="list-style-type: none">○グループワークやロールプレイ等の学習方法には向かない○受講者のやる気・モチベーションに左右される○受講者の理解度が、個人の経験や考え方に左右される


eラーニングは、その他の研修手法、個別面談等と組み合わせて活用することで、上記のメリットを活かした、より効果的な人材育成に繋げることができます。後述の活用事例(p.3～)等を参考にしてください。

(3)eラーニングのはじめ方

①使用する物品を準備しよう！

準備物	説明
パソコン 	eラーニングはパソコンで利用できます。 画面にある程度の大きさがありますので、レジュメや関連する資料を同時に開きながら学習することができます。
タブレット 	タブレット型端末での受講も可能です。 持ち運びやすさと画面の大きさの両方の利点があります。
スマートフォン 	画面が小さいという点ではありますが、外出先、仕事の空き時間などにeラーニングを利用するには適しています。予習・復習・繰り返しの学習などに効果的です。
イヤホン 	イヤホンもしくはヘッドホンを使用することで、音声が格段に聞き取りやすくなります。また、周囲の音を防ぐためeラーニングへの集中力も高まります。 また、職場や電車内など周囲に人がいる状況でも学習できるので、イヤホンの準備をおすすめします。

②環境を整備しよう！

確認事項	説明
インターネット環境 	eラーニングにはインターネット環境が必要です。 職場であればインターネットに繋がっているパソコンやタブレットがある可能性が高いですが、端末の台数が限られている場合には、一度に利用できる人数が制限されてしまいます。職場の状況を確認しましょう。 タブレットやスマートフォンは、料金定額制のWi-Fiではない場合、契約プランによっては通信料金が高額になったり、通信制限が発生したりする可能性があります。視聴前に契約プラン等を確認してください。

③eラーニングシステムに登録しよう！

登録は原則として「事業所・法人」を通じて、事業所・法人単位でお申込みください。

eラーニングシステムへの登録については、大田区ホームページ

大田区福祉人材育成・交流センター

検索



をご参照いただき、お手続きください。

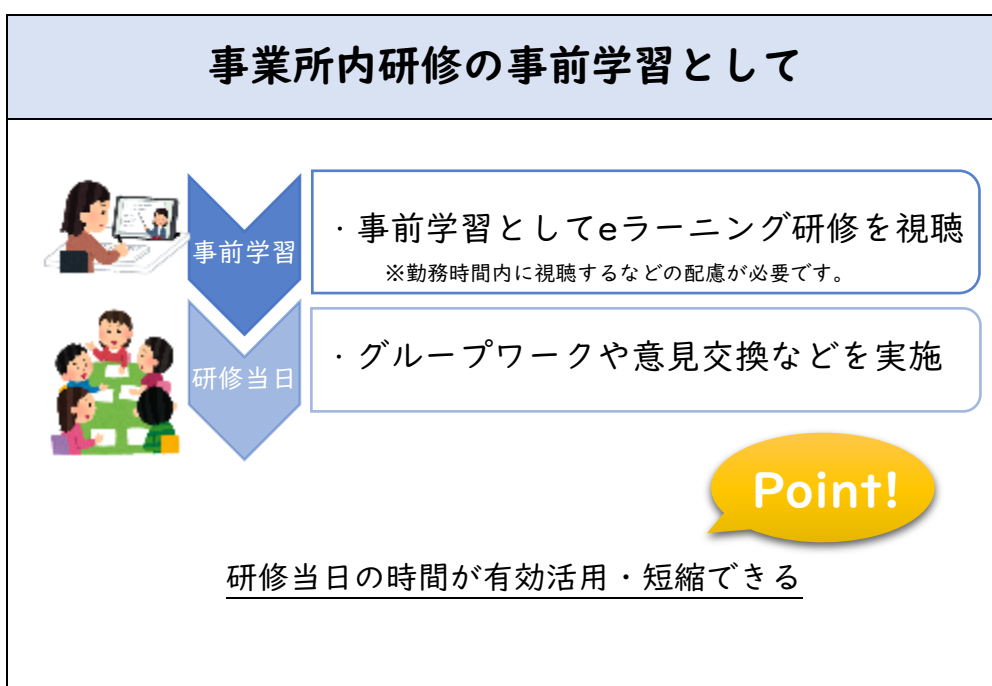
※大田区ホームページが表示されます。

eラーニング研修の活用事例

(1)事業所内での職員向け研修等での活用

職層(新人・中堅・リーダーなど)研修や専門スキル研修の教材としての活用

職員・スタッフ向けの職場・社内研修の研修教材としてご活用いただき、eラーニング研修とグループワーク等を組み合わせることで、より学習効果の高い研修を実施することができます。



事業所内研修の講義部分の代用として



講義

・研修の講義部分にeラーニング研修を使用



ワーク

・ワークショップやロールプレイなどを実施

Point!

講師や担当者の負担が軽減する

ワーク部分の準備や運営により注力できる

育成面談等での活用

定期的な職員との面談前に、当該職員に身につけてほしいスキル等に関する動画を視聴し、その後の面談に活かす方法や、面談を受けて共有した職員の目標や悩みに合わせて動画視聴を促す方法など、職員面談等でもご活用いただけます。

人材育成面談への活用

面談前

・身につけて欲しいスキル等に関する動画を視聴

面談

・動画を基に面談を実施

面談後

・本人の目標や悩みに合わせた研修を視聴



Point!

一人ひとりに合った研修動画が推薦できる
復習したい時に手軽に視聴できる！

(2)個人による活用

事業者や法人内での人材育成にご活用いただくだけでなく、個人によるスキルアップや自己啓発にもご活用いただけます。

自己啓発



いつでもどこでも学習が可能
繰り返しの視聴で学習効果が高まる

Point!

日常の虎の巻



仕事中でも手軽に確認できる
いつでも確認できる安心感

Point!

(3)活用事例の紹介

これまで紹介した活用事例以外にも、様々な活用方法が考えられます。各事業所・法人で、さまざまな活用方法をご検討ください。

変則勤務などでも同じ内容を学習できる

福祉の職場は変則勤務やシフト勤務が多いことも特徴です。
eラーニング研修のコンテンツを活用いただくことで、
職員同士が同じ内容の学習をすることができます。

事業所・法人内での集合研修も併せて行う場合、講義部分をeラーニングに置き換えることで集合型の時間を短縮することが可能となり、職員の参加しやすさの向上、負担の軽減につながります。

